【松丘地区】

ＪＲ久留里線（久留里・上総亀山間）の現状等に係る住民説明会　概要

１　開催日時

令和５年７月１２日（水）午後６時３０分から午後８時２５分頃

２　開催場所

松丘コミュニティセンター　大会議室

３　内　　容

（１）検討会議の設立趣旨及び第１回検討会議の結果概要等

・千葉県から、検討会議の設立趣旨及び、会議の中で、住民代表から要望があったことを受け、住民説明会の開催が決定したことを説明。

・藤井特任教授から、第１回検討会議の結果概要等及び、今後、会議において久留里線（久留里・上総亀山間）の沿線地域の交通のあり方を検討していくとの方向性で合意したことを説明。

（２）ＪＲ久留里線（久留里・上総亀山間）の現状等

・ＪＲ東日本千葉支社から、久留里線の現状と課題について、資料１－１及び１－２に基づき説明。

（３）質疑応答、意見交換

※下記意見等概要のとおり

４　配布資料

・ＪＲ東日本千葉支社の協議申し入れ文書（資料１－１）

・久留里線（久留里・上総亀山間）の現状及び課題に関するＪＲ千葉支社長会見資料（資料１－２）

５　出席者

・千葉県 総合企画部次長　横山　尚典

・君津市 企画政策部長　鈴木　広夫

・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社 企画総務部企画部長　森原　大輔

・ＪＲ久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議座長
藤井　敬宏（日本大学理工学部交通システム工学科特任教授）

６　参加者　８１名

【意見等概要】

①【松丘・男性】

・　千葉支社へ（の質問）、久留里線（木更津～上総亀山の全線で）の営業係数はいくらか。

・　ＪＲが久留里～上総亀山間の申入れをしたのは、君津市とだけ話し合えばよい（関係者

が少ない方が議論は簡単では）という意図からではないかと思ってしまう。

②【松丘・男性】

・ 久留里線の存続を求める立場から意見する。
・ 小学校２年生の孫がいる。将来、高校に通うときに久留里線が必要になる。車を利用できない方のために必要。
・ 過疎化が進んでいるのは、国の問題もあると思う。過疎化対策のためにも必要。
・ 昨年（令和４年）の千葉日報での石井市長のコメント、活性化の取組を推進していくと言っている。
・ 久留里線開業１１０周年の冊子に「久留里線の恩恵は地域にとって計り知れないものがある」とコメントが掲載されている。
・ 分割民営化の際の国との約束（ローカル線の廃止はしない）を果たしてほしい。
・ 国に対して、地域路線の存続を求める要望をしてほしい。
・ 存続をするための議論の場にしてほしい。

③【松丘・男性】

・ 昨年（令和４年）度、ＪＲが企画し、講師を招いて古代史の講演会をやった。久留里線沿線には、こういった伝説も含めた観光資源がある。
・ ＪＲが真剣になって、沿線市にも呼び掛けて、観光として、他から人を呼び込む施策をしてほしい。

④【松丘・男性】

・ 検討会議の委員は、実際に久留里線に乗ったことがあるのか。知っているのか。利用していない人が議論しても。自分は、通勤で使うようにした。

⑤【松丘・男性】

・ これまでイベント等を実施してきたとのことだが、社内での評価、今後の計画、どのくらい利用者は増えたのか。単発で終わりなのか。

⑤【松丘・男性】

・ 上総松丘駅の周辺の草刈りなど、環境美化活動をしている。自治会長も協力して、年に２回、草刈りをしている。
・ 銚子電鉄開業１００周年のお祭りをやっている。社長のあいさつ、「ローカル鉄道をめぐる環境は年々厳しくなっているが、逆境に負けずに地域への恩返しをしていきたい。この街に銚電があってよかったと言ってもらえるよう、社員一同頑張っていく。」
・ もう一度、過去を見つめ直して、営業努力・利用促進をしてほしい。意識してほしい。

⑥【松丘・女性】

・ 今から１０年前、高校を卒業するまで久留里線を使っていたが、その時点で、清和地区

は公共交通（三島地区には鉄道などが無く）の利便性が悪く、高校の選択肢が私立のスクールバスか原付で通えるところ、と友人から聞いていた。
- ２０１４年から、久留里～上総亀山間の本数が減った。それ以前から、学校が昼に終わっても家に帰るのは、４時過ぎだったが、さらに減っては、高校の選択肢が狭まってしまうのではという心配があった。利用者がいないというのは、本数が少なく、乗ろうと思っていても乗れないからという現状がある。
- 以前、ワクチン接種のとき、久留里までタクシーで行き、高額な出費となった。利用したい人のことを考えて、公共交通機関としての役割をきちんと果たしてほしい。車がない人、高齢者が増えていく中で、買い物・通院に困る。
- 廃止をするにしても、代替交通をきちんと考えていただかないと困る。

⑦【久留里・男性】
- 検討会議は廃止を前提としているものではないとのことだが、今までのＪＲのやり方を見ていると、廃止に突き進んでいるように見える。北海道も九州も西日本も廃線が進んでいる。
- だいぶ前に久留里駅に腕木式信号があったり、タブレットがあった。何でもかんでも新しくなるというのは、いただけない。そういうものを求めてやってくる鉄道ファンがいる。
- 郷愁、魅力なくなってしまった…何か魅力もあるものは残してほしい。
- アクアレールという構想があった。もしできたら、発展するのではと思っていた。

⑧【松丘・男性】
- 久留里線の乗車運賃を木更津駅で精算すると全て内房線の収入になると聞いた。定期なども久留里線の駅で買えば久留里線の収入になるが、無人駅ばかりにしているのではないか。

⑨【松丘・男性】
- 通勤のために定期を買った。久留里駅で聞いたら、どこで買っても変わらないと言われたため、会計上はどんぶり勘定だと思う。私鉄との乗り継ぎも、だれがどこで乗っていくら払っているかわからないため、どんぶり勘定だと聞いている。久留里線はかなりどんぶり勘定ではないかと思う。

⑩【地区外・男性】
- ＪＲの営業収支について、内房線のワンマン列車は、久留里線のように運賃箱が設けられていない。回収されなかったきっぷはどの路線の収入になるかわからないのではないか。そのような状況の中では久留里線の営業収支は出せないのではないか。

⑪【松丘・男性】
- 人口流出、過疎化という社会情勢のなかで久留里線の利用者も減少している。

- 特別支援学校があるように、久留里線にも特別な支援をお願いしたい。
- 久留里線は、木更津と大原を結ぶ木原線の構想もあったが、事情により（今の）久留里線となった。その構想のように、亀山から大原方面へのサイクルツーリズムのルートを考えるのもよいのではないかと思う。
- 地域にある様々な団体の中で、久留里線を使ってみる。ＪＲからも地域に働きかけてみるといったことが必要ではないか。
- 地域が駅舎の管理や、沿線の草刈りを行えば、ＪＲの経費削減になるのではないか。
- 企業誘致により、雇用の創出・増加、人口減少の対策をとってほしい。

⑫【松丘・男性】

- 亀山での説明会では、久留里線を残してほしいという意見が大多数であった。
- 久留里線の利用者減少は、モータリゼーションの進展だけでなく、本数が少なく利用したくても利用できない状況がある。始発を早める、終電を遅くする、久留里止まりでなく亀山まで運行するなど、利用しやすくしてほしい。

⑬【松丘・男性】

- ＪＲの収入がどうとかではなく、廃止が決まっているわけではなく、これから議論していくのだから、ＪＲにはたくさんある観光資源をどう活用するかを考える必要がある。そうすれば、収支改善もするのではないか。一過的なものではなく、有機的に結びつける必要があるのではないか、考えてもらいたい。

⑭【松丘・男性】

- 久留里線と他の路線を継続して利用した場合に、久留里線の収益はどのように計算されるのか。収支の明細が示されていない。
- 住民説明会を受けて、地元の話し合いの場が設けられていない。地区で話し合いの場を設けたらどうか。

⑮【松丘・男性】

- 皆さんの意見としては、存続してもらいたい、このまま廃止はない、だから何とかしてもらいたいというもの。
- 久留里線は100円稼ぐのに19,000円も経費がかかるとのことだが、ほかの交通機関と比較してそれで果たして妥当なのか。それを考えるために久留里線の現状をわかりやすく丁寧に説明してほしい。
- 検討会議では、どういう方向性で今後の課題を解決に向けて検討されていくのか示してほしい。
- 地域の意見をどうまとめていくのか。説明会の参加者の意見をもって地域の意見とはできないのではないか。

【藤井特任教授総括】

（住民説明会に出席し）地域の移動ニーズを丁寧に把握したうえで、特に学生の通学移動を踏まえて公共交通のあり方について考えなければならないと感じている。

観光資源を活用した久留里線の利用促進と、日常的ではない観光のための交通需要をどう考えていくか。（実態調査をしたという）参加者からは、久留里線は観光利用がほとんどとの意見があった。

15 歳から 64 歳の通勤通学利用が存在するが、使いたくても使えないという声があるという話がなされ、移動のニーズをどう捉えていくか検討が必要。

非日常型の観光利用については、ＪＲが自社の観光事業と一体化して考えてもらいたとの意見もあった。

高校生が早く終わっても列車がなく帰れない、なくすにしても代替交通を考えてもらいたいといった意見があった一方で、久留里線が大量輸送機関の機能を発揮できていない現状は現実問題として受け止める必要がある。

このような住民説明会での声を丁寧に伺いながら、上がってきたご意見等は、検討会議の中で丁寧に考えていきたい。

さらに、君津市は地域公共交通会議にて、久留里～亀山の問題だけでなく市全体の交通計画の策定を進めており、地域の移動に関する課題についてアンケート調査を行っているため、そういったものも参考にしながら、いろいろなことを検討していく。やはり皆様のお考えが大事であり、検討会議で一緒に考えていきたい。